

2020年度 法科大学院

第1期末修者

入学試験問題

(小論文方式)

試験時間 80分

注意事項

- (1)試験開始の合図があるまで、この問題冊子の中を見てはいけません。
- (2)この問題冊子の1ページから問題が掲載されています。
- (3)試験時間中に問題冊子の印刷不鮮明、ページの落丁・乱丁及び解答用紙の汚れ等に気づいた場合は、手を挙げて監督者に知らせてください。
- (4)解答は必ずそれぞれの解答用紙に記入してください。下書き用紙は回収しません。(解答用紙取り違えの申出には一切応じません)
- (5)参照は不可となっています。
- (6)解答用紙の取替え、追加配布はしません。
- (7)試験問題の内容等について質問することはできません。
- (8)問題冊子の余白等は適宜使用して構いません。
- (9)試験終了後、問題冊子、下書き用紙は持ち帰ってください。

[小論文1]

以下の文章を読み、続く問いに答えなさい。

麗子と和夫は、P教授のゼミの学生である。P教授の専門は街づくり論。今日はフィールドワークの日であり、二人は某私鉄沿線の静かな住宅街を歩いている。一帯は一軒家が連なる街区であり、ところどころに雑木林が残っている。まだ春には間があり、樹々は芽吹いていない。

和夫：なんだ、この家は。壁から屋根までオレンジ色で塗り尽くすとは！ けばけばし過ぎるよ。

麗子：あれ、どうしたの？ オレンジはあなたの大好きな色でしょ。今日だって、オレンジ色のセーターを着ているくせに。

和夫：それとこれは別だよ。たしかにオレンジは好きだけど、ここに一軒だけこんな色の家があるのは気に入らないな。

麗子：家は各自のものなんだから、自分の好きな色を塗ればいいんじゃないかしら。それが個性っていうものよ。

和夫：じゃあ、赤、青、黒、ピンク、黄色、その他いろんな色の家がこの区画に立ち並んでもいいって言うのかい？

麗子：私は一向に構わないわ。おとぎ話の国のようで楽しいじゃない。私はピンクにする。オレンジは好みじゃないけど、お隣がオレンジでも気にしないわよ。

和夫：ぼくはそんな派手な街には住む気になれないなあ。ほら、P先生がいつも話しているじゃないか。ヨーロッパの街は色調が落ち着いているって。

麗子：じゃあ、あなたはどの家も同じ地味な色で塗り尽くすことを勧めるわけね。それはたしかに落ち着くでしょうよ。でも、私はご免だわ。

和夫：落ち着いた色調の街区を創るのに、どの家も同じ色で塗り尽くすことまでは必要ないと思うな。そうだ、ぼくはその点について考えをまとめてレポートを書くよ。

麗子：私は、建物の色について完全自由論を主張するわ。あなたの「落ち着いた色調の街区」論を実現するのは、まずは無理としたものね。

問1 街区の建物の色を所有者の自由とするか、それとも何か制限をかけた方がよいか。あなたの考えを500字程度で説明しなさい。

問2 麗子は「落ち着いた色調の街区」論の実現は難しいと見ている。その理由を推測するとともに、あなたなりの反論を500字程度でまとめなさい。

[小論文 2]

以下の文章は、2019年4月8日付け毎日新聞の社説からのものです。この文章を読んで、下記の設問に答えなさい。

問1 上記の文章は何を読者に訴えようとしているのか、解答用紙に3～4行程度で要約を記載しなさい。(10点)

問2 上記の文章に書かれている制度改正の要請に関して、2つの対立する立場からの見解とともに、あなたの意見を解答用紙に記載しなさい。(30点)

—— 参考補助資料 ——

下記の文章は、上記社説の関連記事です。上記社説の内容を理解するための参考補助資料として掲載します。

ラジオ：ワイドFM普及課題 民放AMラジオ大幅縮小へ
毎日新聞 2019年3月23日朝刊